

違反で逮捕。女子高校生二人を含む少女五人を使い売春させていた。24日県統計課は、五十八年度の学校保健統計調査結果を発表。本県児童生徒の養育状況は、全国平均を上回っており、中学一年男子の身長は一五〇・四センチ、体重は四十一・六キロとなる。虫歯の状況は、「なし」が、幼稚園で一・七％、小学校八・九％、中学校六・二％、高校四・三％と学年が進むにつれて虫歯のある児童生徒が増えている。

☆設立準備会日誌

- 11月4日 第33次県教研参加(↓6日)
- 23日 三南地域説明会
三南民間教育研究会集會参加
- 26日 第6回常任委員会
- 29日 事務局会議
- 12月25日 地域民間教育研究全国交流集會参加(↓27日)
- 1月5日 県民間教育研究集會冬の集會参加(↓6日)
- 14日 第2回生活指導研究会(↓15日)
- 15日 第7回常任委員会
- 31日 事務局会議

2月11日 事務局会議

編集委員会

23日 よびかけ人會議

事務局会議

26日 子どもの心と体を考える(仮称)研究会初會合

3月10日 第8回常任委員会

17日 教育と人権(仮称)研究会初會合

事務局会議

28日 事務局会議

編集後記

「新潟の教育情報」創刊号発行以来、連日の雪に悩まされ、泣かされました。

大雪のためではありませんが、第2号の発行が予定より遅れてしまい、おわび申しあげます。

今回は、「新潟県の道徳教育を考える」と題する特集をくみました。

定時制高校での実践をまとめた首藤先生は、私も県民教育研究所準備会の常任委員をなさっております。

一人ひとりの子ども・青年を本当に大切にされている実践に心を打たれると同時に、子ども・青年と「共に」歩み、定時制にこだわり続けている先生の教育観・教育姿勢の一端を、かいま見た思いがいたしました。

過疎の村で一貫して、書くこと、表現すること、自分とまわりの世界を見つめることを指導・実践されている津幡先生の実践記録を、新潟大学教育学部の阿部先生に評論という型でまとめてもらいました。

「非行克服に切り込む実践を」は、研究所がこの間につくってきた研究会——生活指導研究会で論議を重ねてきた中で、沼波先生がまとめたものです。

数年前から荒れだした学校を、父母・地域と教職員が一体となって、学校の民主的再生をめざして、苦悩しながらも、展望をもって奮斗された教職員の一致したとりくみの様子が書かれています。

ツッパリグループのリーダーであるKとの信頼関係を作るための教師たちの努力は、並々ならぬものがありました。

そして、克服のための小さな前進を、教職員がみんな確認し合い、お互いに励まし合いながら、立ち上がる姿に感動しました。

「ドック」と名付けられた学習を大切にし、学ぶことの喜びといったものをツッパリの生徒たちと共有していく実践は、「教師が変わる」とこの実践でもあったと言えるでしょう。

う。(佐藤 賢)

にいがた県民教育研究所
設立準備会

- 代表 表長崎 明
- 副代表 坂東克彦
- 常任委員 八木三男
- 沼波貞夫
- 吉田三男
- 宮本 敏
- 首藤隆司
- 関川 智子
- 足立 定夫
- 事務局長 木村隆利(編集)
- 編集長 若月 又次郎(編集)
- 事務局員 佐藤 賢(編集)

事務所
〒951新潟県新潟市東中通一八六
電話 〇二五二二八二九二四
山崎ビル三階

☆資料や設立準備会へのお問い合わせは、右記の事務所までご連絡ください。